

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光学演習 Tourism Skills		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	観光ビジネス実務士必修	全学生、観光フィールドの学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習、観光学概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
伊藤 優子	授業中に指示します	水曜日、木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
観光業の中で観光地理を学ぶことは基本となる。近年は情報発信が多様化し、既存の情報だけでなく、あらゆる側面から情報を得ることができる。しかしながら、旅行業においては消費者以上の知識を要求される。そのため、常日頃から観光に関する知識を身につけることが不可欠となっている。この授業では海外の観光地理に関する基礎的な知識を学び、海外の現状を理解することを目的とする。				
授業の目標				
①観光業において観光地理の役割と重要性を理解し、身につけることができるようにする。②海外の現状と課題、観光資源の知識を身につけることができるようにする。③世界各地の世界遺産、既存の観光資源以外の食事も工芸品など幅広い知識を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
演習形式 世界各国の観光資源を実践的に学んでいく。				
学習の成果（学習成果）				
①観光業に関する世界中にある観光資源の重要性を自ら学ぶことができる。②アジア地域、特に中国の観光資源に関する知識を身につけることができる。③ヨーロッパ地域に関し、西欧だけでなく、東欧、北欧など広い地域の観光資源の詳細を学び、旅行業界で使える力を身につけることができる。④旅行業界に必要とされる世界の現状把握とその知識を身につけることができる。⑤業界で実践的に活用できるための知識と実務能力を身につけ、職場で活かすことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	海外旅行において必要な地理の知識（食事・名産品・美術館・画家）			
第2回目	海外観光地理（台湾・韓国・香港・マカオ）			
第3回目	海外観光地理（中国）			
第4回目	海外観光地理（東南アジア・インド）			
第5回目	海外観光地理（北欧・ベルギー・オランダ）			
第6回目	海外観光地理（イギリス・スイス・ドイツ）			

第7回目	海外観光地理（フランス・スペイン）		
第8回目	海外観光地理（イタリア・ギリシャ）		
第9回目	海外観光地理（東欧・ロシア）		
第10回目	海外観光地理（アメリカ）		
第11回目	海外観光地理（ハワイ・カナダ）		
第12回目	海外観光地理（オセアニア）		
第13回目	海外観光地理（ブラジル・ペルー・アルゼンチン他）		
第14回目	海外観光地理（トルコ・エジプト他）		
第15回目	観光学のまとめ		
成績評価の方法と基準			
評価の領域	割合	評価の基準	
授業参加態度	30%	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。指名されたら自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たす上位トップグループ。	
レポート			
調査報告書			
小テスト	20%	数回の小テストを実施する。そのつど、理解度を図る（実施日時は、授業中に指示します）。S評価の基準：S＝90－100	
試験	50%	世界各国の観光地、観光資源をどのくらい理解しているかを確認する（実施日時は、授業中に指示します）。S評価の基準：S＝90－100	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
海外観光資源（JTB総合研究所）			
履修上の留意点・ルール			
遅刻厳禁。私語はつつしむこと。授業途中で無断で退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁			